

授業科目名	保育内容「人間関係」指導法	担当教員名	石村 万寿美
科目区分	教職・保育に関する科目	施行規則に定める科目区分等	領域及び保育内容の指導法に関する科目-保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む） 人間関係 / 保育内容演習
必修-選択/単位数	必修 / 1単位（15時間）	授業方法/担当形態	演習 / 単独
開講学年/学期	2年 前期（2期） / 年間開講数 1講座	特記事項	※実務経験のある教員等による授業 幼稚園園長、幼稚園教諭として長年にわたる実務経験を活かして、具体的な実践記録を紹介して授業を行っている。 ※「保育内容演習」の指導内容を含む
授業の概要及び全体目標	幼児教育の目的と領域の関係性や環境を通しての教育、そして領域「人間関係」と他領域との関係を学ぶ。事例と理論を関係づけることから、幼児期における人とのかかわりの発達をみつめ、支え、広げ、深める保育者の役割について事例研究を通して学ぶ。 ※ICTの活用、協働学習を含む。		
到達目標	幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。 ① 幼児の認識・思考、動き等を視野に入れた保育の構想の重要性を理解している。 ② 領域「人間関係」の特性や幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育の構想に活用することができる。 ③ 指導案の構成を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。 ④ 模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けている。 ⑤ 領域「人間関係」の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組むことができる。		
テキスト	「事例で学ぶ保育内容 領域 人間関係」岩立京子編（明文書林）		
参考書・参考資料等	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」（株式会社チャイルド本社）		
成績評価の方法	○理解度・到達度チェック(筆記形式);40% ○課題(レポート、指導案等);20%、コメントシートの提出(毎回);20%、平常点(授業意欲、態度等);20%にて総合評価		
授業外（事前・事後）学習の方法、オフィスアワー等	事前学習については授業で指示する。事後学習については毎回コメントシート(受講カード)を提出。 オフィスアワー 金曜日 14:30～15:30 (306・510研究室)		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	○オリエンテーション 指導法「人間関係」の目的と意義・指導案の必要性と項目	1-(1)-①,1-(1)-②,1-(1)-④,1-(2)-①,1-(2)-⑤,2-(1),2-(2),2-(3)	
第2回	3～5歳の育ちの姿に沿った必要な援助と環境構成、指導案の作成	1-(1)-①,1-(1)-②,1-(1)-③,1-(1)-④,1-(2)-①,1-(2)-⑤,2-(1),2-(2),2-(3),2-(4)	
第3回	3～5歳の育ちの姿に沿った模擬保育の概要 ICTの活用と指導法	1-(1)-①,1-(1)-②,1-(1)-④,1-(2)-①,1-(2)-⑤,2-(1),2-(3),2-(4)	
第4回	事例検証Ⅰ（子どもと保護者の関り：信頼関係を築く・子ども同士の関係をつなぐ） 指導案作成①	1-(1)-②,1-(1)-④,1-(2)-①,1-(2)-⑤,2-(1),2-(3),2-(4)	
第5回	事例検証Ⅱ（いざごやけんかの場面・自分の感情をコントロールする場面） 指導案作成②	①,③	
第6回	事例検証Ⅲ（決まりやルールを守る場面・協同性を育むなど） 模擬保育①	①,④	
第7回	事例検証Ⅳ（生活を通して育つ人との関り・特別な配慮や支援が必要な子どもへの関りなど） 模擬保育②	①,④	
第8回	模擬保育の振り返り・まとめ 協働学習について ○理解度・到達度チェック（筆記形式）	①,④,⑤	